

# さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期校友会会報第1号

## 会長挨拶 27年度校友会を迎えて

会長 澄川 ○○

シニア大学・大学院と二年間の学生生活が終了し、名実ともに校友会会員となりました。26年度会員数59名で卒業とともに2名が退会しましたが、今年度は、新規加入者2名が加わり昨年度同様59名のスタートとなりました。(大塚○○さん、井上○○さんの加入) 4月13日に定期総会が無事終了し、役員も三品副会長から内田副会長へ、前沢総務副部長から坂本総務副部長へと、一部役員の改選がありました。

今年度は岩槻協議会文化祭開催のサブ担当(主担当は8期生)になっており、かつ来年3月のバス日帰り旅行については、我が9期が主担当になっています。いつもの期より忙しく、大変な思いをさせる事となります。どうか各部長および実行委員長になった方々を中心に、企画・運営を図り、また各期の先輩・後輩たちとの連携プレーも一層要求されるものと思われまます。それこそ、この二年間で築いた、9期生魂を遺憾なく発揮し、一年間を乗りきりたいと思います。

「明るく、元気に、逞しく」9期生校友会発展の一助になるよう、微力ですが頑張りますので今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

## 第9期校友会総会開催

平成27年4月13日(月)

ふれあいプラザいわつき

二年間お世話になったシニア大学を終了。今年度からは校友会として新しき発足するにあたり、定期総会が開催され事業報告ならびに決算報告を満場一致で承認。校友会としての会則・事業計画ならびに予算案が審議され、新執行部が発表されいよいよ59名に寄る自主運営の第一歩がスタートした。校友会の会長には引き続き澄川○○大学院会長が就任。副会長には関谷○・内田○○さんを選出。副会長として2年間お世話になった三品○○さんには感謝状と記念品が送られた。



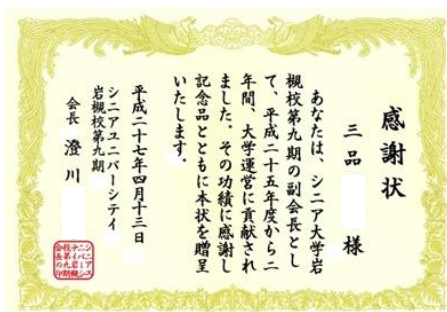
(27年度新執行部の11名の皆さん)

## 新執行部発足

会長 澄川○○ 副会長 関谷○ 副会長 内田○○ 会計 町田○  
宮崎○○ 総務 浪江○○ 坂本○○ 広報 瀧田○○  
樫木○○ 監査 江原○ 田村○○

## 事業計画

月	事業名	担当	当番	備考
7	東京湾クルーズ	PCク		
9	全体集会	講座企	1班	協議会后講演
	ボーリング大会	2班		
10	全体集会	講座企	2班	百人百歳
11	協議会文化祭	5.6.7		
12	全体集会	講座企	3,4班	日本一周ひとり旅
2	連合会文化祭	5.6.7		



(三品○○さんに感謝状贈呈)

「老後の友達を三、四人つくって置きたい」 島崎 藤村

## 春のバス旅行 ひたち海浜公園

快晴の4月22日、総勢39名の参加の元、春のひたち海浜公園散策が行われた。大学院も終わり、これからは自主運営の第一歩となる催しに大勢が参加。一路那珂港へ。ヤマサ水産で刺身定食と海産物のお買いものを済ませ次の目的地ネモフィラ 450万本満開のひたち海浜公園へ。水仙ガーデンは花も終わりかけていたが、満開のチューリップが出迎えてくれた。御目当てのネモフィラの海は見事としか言いようのない絶景を心行くまで堪能。

帰路はお待ちかねの坂本節がさく裂！今回は下ネタ葱で盛り上がったが、今回はネモフィラではなくモルヒネに進路変更。浪江総務部長の軽快な司会で「日本一クイズ」。宝くじの賞品でしたが最高当選者がなんと200円。若し高額金でも当たったら仲間割れするところ、皆から「当たらなくて良かった」の声。夕刻無事帰宅の途に。企画・実行いただいた役員の方々に心から感謝。次回の9月15日のボーリング大会に期待が高まる。



(ひたち海浜公園での記念撮影)



ネモフィラの海

## 谷根千散策

6班 内田 ○○

4月9日、2班の皆さんの「谷根千」散策に1班の新井さんと私が便乗して11名で出かけました。日暮里駅を出るとさっそく猫が迎えてくれました。ガイドの瀧田さんの案内で御殿坂に入り小林一茶の定宿「本行寺」へ、一茶や山頭火の句碑を読み、次に彰義隊が隠れた「経王寺」へ。官軍からうけた山門の弾痕9ヶ所を皆で数えました。七面坂を下り「菘寺」、「岡倉天心公園」を経て、初音坂を登り「観音寺の築地塀」へ。高さ2mの土塀が続き反対側には近年造られた現代アートの築地塀があり対照的美しさです。次に幸田露伴の小説で有名な谷中「五重塔」跡へ、焼失した跡地は再建の予定もなく物悲しい感じがしました。三崎坂を下り「全生庵」へ。近年は歴代総理の参禅の場として有名です。

予定を変更して先に食事をとり「指人形の笑吉」へ。表情豊かな顔と機敏な動作に思わず「ワッハッハ」。お腹も心も満たされて「へび道」へ向かいました。藍染川の暗渠で細い道がクネクネと曲がり下町らしさの残る一帯です。さらに進んで「はん亭」へ。文化財で木造三階建ての風情ある建物は老舗揚げ店です。不忍通りに出てツツジで有名な「根津神社」へ、それぞれが願いを込めて参拝しました。神社を抜け「森鷗外記念館」へ。ここは「観潮楼」という名の自宅跡で2階から海が見えたそうですが、今では想像もつきません。

団子坂、よみせ通りと進み「谷中銀座商店街」へ。コロッケ片手にぶらぶらと歩き、本日最後の名所「夕やけだんだん」へ。以前はここから夕映えの美しい富士山が見えたそうですが、残念ながら今はビル群に遮られ見ることはできません。歴史を感じ下町情緒に触れた有意義な一日でした。



観音寺 築地塀で記念撮影

## 吉里での昼食・歓談のひとつき



谷中銀座 夕やけだんだん

## PC クラブお花見会開催

天候に恵まれPCクラブ員10名で大宮公園の「お花見会」を開催しました。大宮公園駅に10時に待ち合わせ、駅前のスーパーで買い出し、皆さんからのおつまみも沢山あり、生ビールまで寄付がありました。中山部長はクーラーボックスやCDプレイヤーまで持ってきて頂きBGM付きのお花見宴会でした。

その後、昔懐かしい「大宮公園動物園」を見学し、氷川神社を参拝、氷川参道を大宮駅方面に向かい、途中「市立博物館」で見学する方、休憩する方などそれぞれでした。大宮駅前で「コーヒータイム」を計画しましたが、どこも10人が入れる店はなく解散し、男性3名は駅前の居酒屋で21時過ぎまで飲みました。今回のお花見を計画して頂いた中山部長に感謝、感謝です。



## 名前の由来

1班 新井 ○○

私の名前は家を支配していた祖母の一存で命名されたそうです。家には20年ぶりの子供。祖母にとっては待望の初孫の誕生で、物資の少ない時代でしたが、大切に育てられたように記憶しています。物心ついたある日、母から「貴方の名前はこれから先の長い人生の節目節目を無事に乗り越えることが出来るように、願いを込めて命名された」と、名前の由来を聞かされましたが、当時の私は自分の名前が嫌いで、それでも平仮名でこと足りた低学年の時は単に名前が嫌いと言うだけのことでしたが、学年が進み書道塾に通う頃になると、漢字で書く名前の部分の筆が進まず、名前を改名できないものかと、幼い胸を痛めた時期もありました。今、目を閉じて来し方を振り返ると、遠い昔のことですが、名前の由来を聞かされてからは、少しずつですが、暗示をかけられたかのように、人生の節目を慎重に乗り越えてきたように思います。



名は体を表すとか、節と言う字を辞書で引くと竹などの区切りになっているふくらみの部分とあります。その為か少し柔軟性に欠けるところもありますが、人生の分岐点を無事に乗り越えることができ、今は天国の祖母に感謝しています。折にふれて、名前の由来を聞かされた日のことを思い出すことがありますが、要は願いをこめてつけられた名前を大切に、心して生きていきなさいと、訓示されたのだと思います。思えば祖母がつけてくれた名前が私を育ててくれたように思います。人生の悟りの境地に佇み、幸福を託された名前を、宝物のごとく愛し大切に、これからの人生も悔いのないように、ひととして日々努力し、心豊かに美しく齢を重ねていきたいと念じているきょうこの頃です。 まっ先に柳芽を吹く銀座かな 利根川の広き水面や風光る

## 待望のオレオレ詐欺からの電話

4班 浪江 ○○

夜遅く息子を装ったオレオレから電話があり、「携帯電話を変更したので登録を変えてくれ、変更後、試に電話してくれ」とのことでした。自分の携帯電話番号を知られる危険を承知の上で電話をして、その時は確認だけの会話で終了、明日のオレオレからの電話を待ちました。

翌朝10時頃、案の定オレオレから電話があり「会社の金を横領して投資に失敗、今日中に1千万を会社に戻さなければ、会社の監査があり横領で警察に捕まってしまう。」1千万は無理と言うと、「あるだけでいい。」とのことで、300万円直ぐ用意すると返答しました。

早速警察に連絡、直ぐ刑事さん2名が来訪し、電話に録音装置を付けたり、紙袋にくるんだ偽300万円やバックなど準備をして待機しました。バックの中には、テープレコーダーがセットされ、受け子が現金であることを認識しての受けとった証拠とするそうです。

しかし、何回かの電話のやり取りを聞いていた、警察本部で待機している上司から「私の電話対応が冷静過ぎる。」との指摘がありました。そのことが原因かどうか不明ですが、数回の電話対応のうち、午後1時過ぎからは電話がなくなり、こちらから電話をしても繋がりませんでした。その後、午後3時頃には浪江宅の捜査体制は解散しました。今回のオレオレ詐欺は残念ながら逮捕できませんでしたが、また、電話があるのを手ぐすね引いて心待ちにしています。

「年をとるとともに新しい友人をつくらなければ、たちまち孤独になってしまう」 サミュエル・ジョンソン

## 第1回自主講座開催

岩槻区北部圏域地域包括支援センター松鶴園からさいたま市の「介護保険」についての講座が開催された。最初に「介護保険制度」がどのようにして始まってきたのかというテーマから始まり、今日に至るまでの制度の変遷について解説があった。次にこの制度のサービスの利用方法と実際にいくら費用がかかるかを指摘。制度を必要としないためには如何にして健康長寿を全うするかを身体を動かしながら、脳トレの実践を。最後に、「年齢は人生の財産である。今後も様々な分野で活用させましょう」と締めくくられた。(4月13日ふれあいプラザ)



(手を動かして脳の老化を防止)

## 清水公園の花々

## 花散策クラブ 5班 田中 ○○

今回の「花散策」は、私の故郷、野田の清水公園で三つの花(ボタン・ツツジ・フジ)を仲間に見せてあげたいと思い企画しました。4月28日清水公園駅に集まったのは、木村さん、工藤さん、内田さん、澄川さん、それと私の5人。葉桜の下を、気持ちのいい風に吹かれながら10分ほど歩いて、清水公園入口に到着しました。慈光山金乗院の仁王門をくぐり、四季の美しさを話しながら、寺の境内の「ボタン」を観ました。新緑のもみじ、色鮮やかなつつじを眺め、アスレチックで遊ぶ、小学生たちの歓声を聞きながら、つつじの見渡せる展望台に向かいました。人の背丈よりも高いつつじの木々の間を、白、ピンク、赤、色とりどりの花を楽しみながら歩きました。傾斜45度の坂道を登ると丘全体を彩るつつじを観ることができました。



「ちょうど満開の時期に来られて良かった」花の見ごろは難しい。松やもみじの葉の緑、その下に広がる咲き乱れた花を想像してみてください。つつじで有名な館林とはまた違うつつじの咲き誇った光景です。バーベキュー場、芝生の広場、小川沿いの道からアスレチックの、池のほとりの藤棚のある休憩所で小休止しました。各人が持ち寄ったお菓子を食べながら、女性が得意なおしゃべりで過ごしました。

「花ファンタジア」内では、イングリッシュガーデンを抜け、まだつぼみのバラ園を過ぎると、目の前にボタンの花園が広がりました。さすがにその華やかさは、見事でした。言葉で表現できない美しさは、心に感動を残してくれました。「ボタン」を写真に撮りたいと参加した澄川さん、たくさんの気に行った写真が撮れましたか。女性は木陰の展望台で、たっぷりボタンを観ることができました。ボタン園を出て間もなく水連池の周囲に藤棚があり、その下を通り過ぎクラブハウスの温室に入りました。そこで生まれて初めての花を観ることができました。それはヒスイ色したヒスイカズラと黄色いバナナの花でした。本当に感動しました。公園を出るところには、午後2時過ぎになり、遅いランチを公園駅の近くの寿司屋「寿司長」に寄り、喉を潤しながら反省会を開きました。素晴らしいお天気のもと、今度は秋の清水公園も見たいということで、半年後にはまたこの場所に来る事になると思います。その時は皆さんもぜひご参加ください。お待ちしております。

## お 願 い

校友会会報第1号を皆様にお渡しできます事に感謝申し上げます。皆様に手紙で原稿の依頼をさせていただきましたところ、大勢の皆さまからご協力いただきスムーズに編集出来ました。心から感謝申し上げます。第2号は9月に発行の予定です。この会報は皆様からの投稿で出来ております。現在のところ原稿は全く有りませんのでご投稿を心待ちにしております。編集内容などお気づきの点がございましたら、ご希望に沿った編集を心がけますので、ご意見をお寄せ下さい。

皆様の会報にご協力を

春の宵花の間に間に見る月はおぼろなれども我と歩み行く  
夏  
風薫る保津川峡の川下りしづきと共に陽が降りそそぐ  
秋  
水際に鷺の一羽は立ちつくす影ゆらゆらと流れに写して  
冬  
海荒く砕け散りゆく波の華薄墨色の空へ消えゆく  
一班 宮崎 黎子